

令和4年度 農作物病虫害発生予察11月月報

令和4年(2022年)12月5日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
11.1	14.3	14.2	0.1	22.0	20.2	1.8	8.6	9.2	△ 0.6
11.2	13.1	13.5	△ 0.4	21.4	19.3	2.1	7.0	8.6	△ 1.6
11.3	15.6	12.5	3.1	21.5	18.1	3.4	10.3	7.7	2.6
11.4	12.3	11.2	1.1	19.9	16.8	3.1	7.1	6.4	0.7
11.5	13.1	10.2	2.9	18.9	15.8	3.1	8.5	5.5	3.0
11.6	14.5	9.4	5.1	20.3	15.0	5.3	8.6	4.7	3.9
平均・計	13.8	11.8	2.0	20.7	17.5	3.1	8.4	7.0	1.3
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
11.1	0.0	12.7	△ 12.7	39.6	26.8	12.8			
11.2	0.0	14.1	△ 14.1	39.8	25.3	14.5			
11.3	2.0	14.5	△ 12.5	28.5	23.6	4.9			
11.4	3.5	13.9	△ 10.4	22.7	22.9	△ 0.2			
11.5	20.5	13.2	7.3	22.9	22.4	0.5			
11.6	18.0	13.5	4.5	23.2	21.8	1.4			
平均・計	44.0	81.9	△ 37.9	176.7	142.8	33.9			

II 作物の生育状況

- (1) キャベツ : 定植後の台風の影響で一部では生育に影響があるものの、その後生育も回復し、全体的には概ね順調に推移。加工用について、本格的な出荷開始は12月上旬以降で概ね計画どおり。
- (2) イチゴ : 「かおり野」は、一部では11月中旬頃から出荷が始まり、12月以降本格化する見込み。2番の出蕾についてはややバラツキがあるが、概ね順調に推移し、1月中旬以降出荷の見込み。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 野菜

2022年11月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ (調査ほ場数:12) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.8%)、発病株率0% (平年0.1%)、発 病度0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年2.2%)、発病株率0% (平年0.2%)、発 病度0 (平年0.1) で平年並みであった。	—	—
菌核病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年2.6%)、発病株率0% (平年0.1%) で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年1.9%)、発病株率0.5% (平年 0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 14
べと病	中旬の巡回調査では発生ほ場率0% (平 年3.3%)、発病株率0% (平年1.0%)、発 病度0 (平年0.3) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年4.4%)、発病株率0% (平年1.5%)、発 病度0 (平年0.4) で平年並みであった。	—	—
萎黄病 軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年22.0%)、10株当たり虫数0.5頭 (平年0.1頭) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年16.9%)、10株当たり虫数1.0頭(平 年0.2頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 113
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年16.8%)、寄生株率1.3% (平年 0.6%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年8.6)、寄生株率0.3% (平年0.3%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 71
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年5.8%)、10株あたり虫数0.2頭(平 年0.0頭) 平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年8.1%)、10株あたり虫数0.3頭(平 年0.0頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 57

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.7%)、寄生株率0% (平年0.2%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年5.4%)、寄生株率0.3% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	14
シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.2%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年2.5%)、寄生株率1.2% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少 計	14 28 42
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年13.0%)、寄生株率1.5% (平年0.5%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年10.6%)、寄生株率0.5% (平年0.3%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 少 計	14 71 85
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年7.6%)、寄生株率1.7% (平年0.2%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年13.3%)、寄生株率4.5% (平年0.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 中 少 計	14 28 28 70
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年31.5%)、寄生株率4.0% (平年2.8%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年27.2%)、寄生株率4.8% (平年2.2%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少 計	14 71 85
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年22.5%)、発病株率4.8% (平年4.2%)、発病葉率1.0% (平年1.5%)、発病果率0.8% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	中 少 計	5 15 20
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.8%)、発病株率0% (平年0.1%)、発病果率0% (平年0.0%) で平年に比べやや少なかった。	—	—	—
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.5%)、発病株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—	—
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	—
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年7.5%)、発病株率0.1% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	少	5

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.0% (平年26.4%)、寄生株率5.6% (平年4.9%) で平年並みであった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 35
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年29.0%)、寄生株率0.2% (平年7.8%) で平年に比べ少なかった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	少 10
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年8.5%)、寄生株率0.2% (平年0.3%) で平年並みであった。	県内全域	少 10
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年24.9%)、寄生株率0% (平年3.2%) で平年に比べ少なかった。	—	—
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年13.6%)、寄生花率0.3% (平年1.0%) で平年に比べやや少なかった。 主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	中 5
			少 10
			計 15
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.0%)、寄生株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、寄生株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—

2 野菜類・花き類

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																					
ハスモンヨトウ	11月のフェロモントラップ (山口市大内) の誘殺数は、1,196頭 (平年1,434頭) で平年並みであった。 県内他地点の10月21日～11月20日の誘殺数は下記のとおり。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数(頭)</th> </tr> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>474</td> <td>249</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>30</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>499</td> <td>1,407</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>196</td> <td>549</td> </tr> <tr> <td>参考:周南市熊毛</td> <td>1</td> <td>91 ※</td> </tr> </tbody> </table> ※周南市の平年欄は前年の誘殺数を記載	フェロモントラップでの誘殺数(頭)			地点	本年	平年	山口市阿東	474	249	萩市明木	30	70	下関市清末	499	1,407	柳井市伊陸	196	549	参考:周南市熊毛	1	91 ※	—	—
フェロモントラップでの誘殺数(頭)																								
地点	本年	平年																						
山口市阿東	474	249																						
萩市明木	30	70																						
下関市清末	499	1,407																						
柳井市伊陸	196	549																						
参考:周南市熊毛	1	91 ※																						

2022年11月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
野菜類・花き類 オオタバコガ	11月のフェロモントラップ（山口市大内）の誘殺数は14頭（平年12.1頭）で平年並みであった。	—	—
シロイチモジヨトウ	11月のフェロモントラップ（山口市大内）の誘殺数は1頭（平年1.3頭）で平年並みであった。	—	—
コナガ	11月のフェロモントラップ（山口市大内）の誘殺数は、28頭（平年68頭）で平年に比べやや少なかった。	—	—
アブラムシ類	11月の黄色水盤（山口市大内）の誘殺数は140頭（平年132頭）で平年並みであった。	—	—

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所
 TEL (083) 927-4006
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp